

藤河内溪谷周辺地域の地形と地質

藤河内地域の地形と地質の特徴

藤河内地域は、九州山地の中で急峻な壮年期の山地地形をみせます。第三紀中新世には火成活動の場になりました。その中心に位置する藤河内溪谷には中新世の花崗岩類が分布し、清冽な谷をつくっています。

地形

藤河内溪谷を作る花崗岩類の分布地域では、壮年期の山地中においてやや緩やかな傾斜の地形がみられます。とくに立松谷は、観音滝までそのような地形が広がります。しかし花崗岩類の分布地域をすぎると急斜面が続きます。山頂部はいずれも緩やかな山頂面をなし、これが隆起準平原起源であることを示しています。

地質

藤河内地域は、地質構造的に西南日本外帯の秩父帯と四万十帯に属しています（下図）。秩父帯では石灰岩やチャートが発達し、一部には鍾乳洞も分布します。それらを不整合におおい、祖母山火山岩類におおわれる新第三紀中新世の見立層は礫岩層からなります。祖母山火山岩類は中新世中期のカルデラ形成による噴出物で、大崩山花崗複合岩体はそれらに貫入したものです。大崩山花崗複合岩体は大崩山岩体、藤河内岩体とそれらに付随した小岩体からなりますが、地下では連続しています。

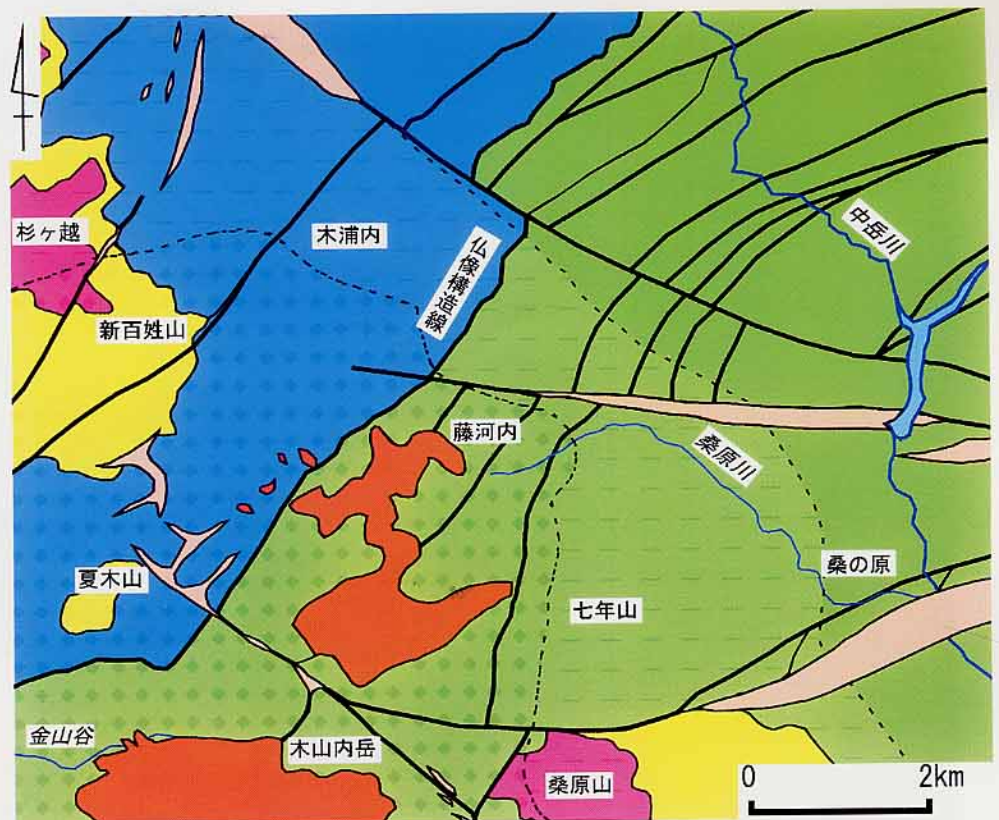
山峰の地形と地質

新百姓山

秩父帯に属し、中生代の地層上に不整合で堆積する見立層が山頂部を形成しています。

のこぎり 鋸切尾根 (大鋸・小鋸)

秩父帯に属する中生代の地層がその後、花崗岩体による熱変成を受けてホルンフェルス化した地質で、山頂部はドーム状の峰が連続しています。それぞれは大鋸・小鋸などとよばれ、全体を鋸切尾根とよんでいます。このドーム状の峰は比高20～30mの独立峰的なものが大部分ですが、大鋸の南斜面は比高40～50mの急斜面です。鋸切尾根から東方の吐合までの谷が鋸切谷です（写真1）。



大崩山花崗複合岩体	見立層	ホルンフェルス（堇青石帯）
岩脈	四万十帯	ホルンフェルス（黒雲母帯）
祖母山火山岩類	秩父帯	断層

図 藤河内地域の地質（奥村ほか，1998を簡略化）



写真1. 夏木山と鋸切尾根

夏木山

夏木山山頂部はホルンフェルス化した見立層からなっています。夏木山の見立層はチャート礫を主とする礫岩からなり、鋸状の凹凸した尾根を作っています。この凹凸の尾根は北方の大鋸・小鋸などの鋸切尾根のそれとは異なり、大きな凹凸で、山頂部の南側は垂直な崖をなしています（写真1）。

木山内岳

木山内岳は^{しまんと}四万十帯に属します。木山内岳南方の花崗岩体は大崩山へ続き、北方の分布は観音滝から藤河内へと続く藤河内花崗岩体です。

桑原山

祖母山火山岩類の最上部を構成する傾山デイスイト火砕流堆積物により作られています。

藤河内溪谷の地形と地質

藤河内溪谷は、藤河内集落から観音滝までの約8kmの藤河内花崗岩体からなり、典型的なV字谷の地形を示す地域を指します。吐合より上流の谷を立松谷とよびます。吐合で合流するもう1つの谷は鋸切谷とよばれ、夏木山、鋸切尾根から流下します。藤河内花崗岩体の最頂部は天神原山の山腹などに急崖を作っています（写真2）。立松谷の地形は、ほとんど河床に堆積物をもたない花崗岩岩盤の侵食谷です。吐合より上流の藤河内橋までの区間は、立松谷の溪谷の地形が集約されています。藤河内橋から上流も、花崗岩の一枚岩が谷壁の急崖をなし、谷底部には^{おうけつ}甌穴群、百枚平などの^{うろこ}鱗状に節理が発達した谷、節理に沿う溝状の谷、観音小滝、観音滝などの滝が連続します。

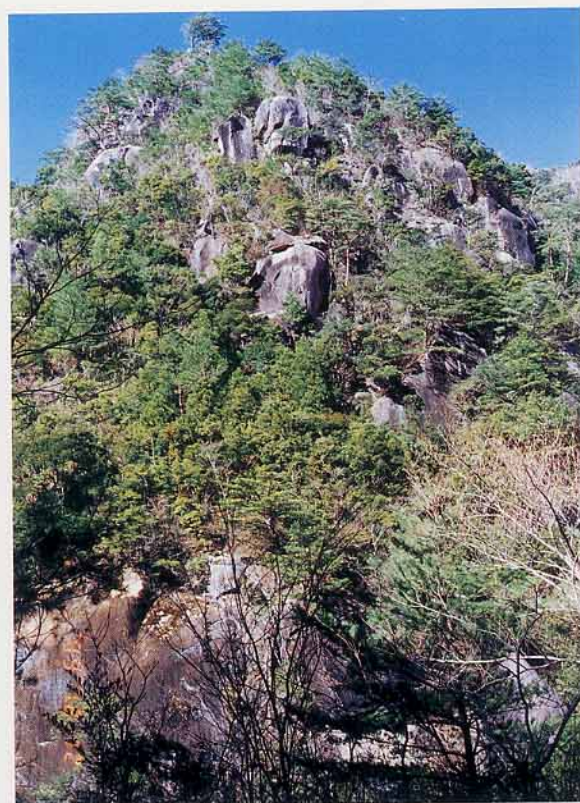


写真2. 藤河内花崗岩体の頂部



写真3. 吐合河床の岩石

吐合

鋸切谷と立松谷の合流点の吐合では上流側へ、短いながら平坦な河床がみられ、大小の甌穴が発達します。平坦な河床部では、堆積岩の中に花崗岩が貫入し、さらに両者へ脈岩が貫入した様子がみられます（写真3）。



写真4. 大どい

大どい、小どい

花崗岩類の節理に沿って侵食された樋状の地形で、規模により大どい、小どいとよばれています。平時の流れはこの中を流れますが、増水時は樋からあふれて流下します（写真4）。

ひょうたん淵^{ぶち}

花崗岩類の節理に沿う侵食地形ですが、これは甌穴が成長したもので、ひょうたん型をした大小2つの甌穴からなっています。背後には上流側にかかる滝がみられます。



写真5. 千枚平

千枚平

花崗岩の節理が鱗状に水平に発達し、それにより片理構造がみられます（写真5）。小規模ながら甌穴や溝状の谷も発達します。

甌穴群

藤河内橋より上流の谷部は甌穴群とよばれていて、花崗岩類の河床に溝状、臼状、渦巻状の甌穴が小規模な滝や早瀬を介して連続しています（写真6）。

観音滝

花崗岩類に懸かる滝です。落差73.5mで、壁面は鱗状に節理が発達します（写真7）。



写真6. 甌穴群

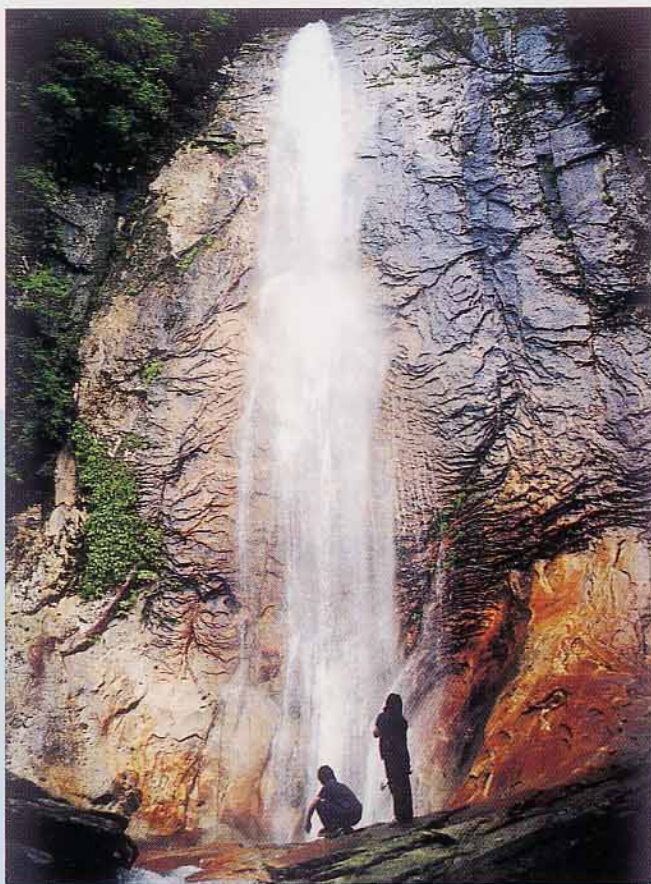


写真7. 観音滝